

2011 関西トレセン U-14 リーグ第1節活動報告

【報告者】 土井和則 (和歌山県トレセンスタッフ)

日 時：2011年 5月22日 (日)
会 場：奈良県フットボールセンター(人工芝)

和歌山県トレセン U-14 参加選手			
背番号	氏 名	ポジション	所属チーム名
1	岩 永 響	GK	岩出F C. AZUL
2	吉 川 心	MF	H.L.P デポルターレ U-15
3	笠 本 海 斗	DF	H.L.P デポルターレ U-15
4	丸 山 陸 斗	MF	那智勝浦町立 那智中学校
5	西 泰 星	DF	和歌山市立 紀伊中学校
6	石 橋 和 憲	FW	ミラグロソ海南S C
8	井 上 杏 汰	FW	セレッソ大阪和歌山 U-15
9	郷 田 真 平	DF	和歌山市立 明和中学校
10	浜 西 綾 汰	DF	ベ・ローラ日高F C
11	池 尻 崇 拓	DF	岩出F C. AZUL
12	佐 古 隼 己	DF	岩出F C. AZUL
13	大 脇 涼	FW	セレッソ大阪和歌山 U-15
14	龍 田 知 幸	FW	白浜町立 富田中学校
15	立 石 和 真	MF	セレッソ大阪和歌山 U-15
17	饗 庭 瑞 生	DF	セレッソ大阪和歌山 U-15
18	佐 野 滉 太	FW	三佐木アルマボーラ

※10番 浜西綾汰 怪我のため欠席

テーマ：攻撃・守備とも良い準備をする、攻守の切り替え

攻撃：簡単にボールを失わない

3ラインを保つ

空いたスペースのケア

on、off 常にゴールを意識して目指す

優先順位を考える

裏を狙う

守備：1対1で負けない

1stDF 決定、チャレンジ&カバー

高い位置で積極的に奪う、30分間続ける

インターセプトを狙う

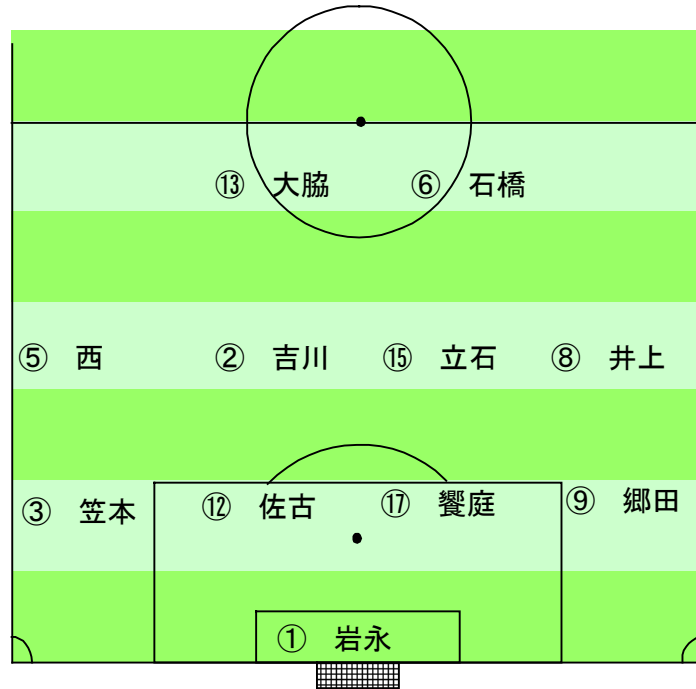
相手を簡単に前に向かせない

FW 守備時、縦の関係を意識

10 : 4 5kick off (30分-5分-30分)

和歌山県トレセン U-14 対 大阪府トレセン U-14

0 $\begin{bmatrix} 0 & - & 0 \\ 0 & - & 1 \end{bmatrix}$ 1



〈交代〉

時間	OUT	IN	備考
4 1分	⑨ 郷田	⑪ 池尻	
4 5分	③ 笠本	④ 丸山	LDF⑤、LSH②、Vo④
5 4分	⑥ 石橋	⑱ 佐野	
5 4分	⑬ 大脇	⑭ 龍田	

〈得点〉

時間	チーム	得点者	得点経過 (～:ドリブル →:グラウンダーパス ◯浮き球 パス ×:混戦 S:シュート H:ヘディング)
5 0分	大阪	⑥	ゴール前(中央)×⑥右足S

【成果】

○サイドの高い位置でのインターセプトを狙う意識。

【課題】

- 攻撃、守備とも予測がなくオン、オフともボールウォッチャーになり、チームでイニシアティブを持ったゲームができない。
- 1対1で、もっと相手の近くで対応できないと、能力のあるアタッカーに自由にプレーされてしまう。
- チャンスがあれば積極的に中盤の前方からプレスをかける。そのためには全員の守備意識の高さと運動量、切り替えの速さが必要。
- ボール保持者にプレスがかかっているのか、いないのかの状況を観ないでDFラインを引きすぎてしまう、もっとボールに対してよせる。また、守備ラインをどこに引くのか、ボールをどこで奪うのかを明確にできていなかった。
- 全体的にラインが低いために、ボールを奪っても前方に出て行けなくラインの押し上げが遅れるため、攻撃の厚みがない。

- パスの出し手はもっと遠くを観ること、受け手はボールから遠いところでマーク、スペースを観てポジションを取りアクションを起こす。ボールと自分だけの関係が多く、ボールの移動中にできるだけゴールや遠くにいる選手、空いているスペース(逆の方向性)を観ることができていないため選択肢が少ない。
- かけひきがなく、スペースに出て行かず足元を要求する場面が多い。自分とボールとの関係で動くことはできても、味方がどのスペースを狙っているかを観ていないため、動きが重なり上手くお互いにスペースをつくり、使うことができていない。
- ビルドアップ時に優先順位を生かしたトップの動き出しやサイドの高いスタートポジションからボールを引きだす効果的なサポートが少ない。

14 : 30 kick off (30分-5分-30分)

和歌山県トレセン U-14 対 滋賀県トレセン U-14

3 $\left[\begin{array}{cc} 2 & - & 0 \\ 1 & - & 0 \end{array} \right]$ 0



〈交代〉

時間	OUT	IN	備考
30分	⑤ 西	⑨ 郷田	
30分	④ 丸山	③ 笠本	
36分	⑱ 佐野	⑥ 石橋	
36分	⑭ 龍田	⑬ 大脇	
57分	⑪ 池尻	⑤ 西	

〈得点〉

時間	チーム	得点者	得点経過 (～:ドリブル →:グラウンダーパス ◯浮き球 パス ×:混戦 S:シュート H:ヘディング)
24分	和歌山	⑭ 龍田	GKパントキック◯(中央)⑭~右足S
26分	和歌山	⑧ 井上	GK◯(中央)⑭→(中央)⑱→(左)⑧右足S
39分	和歌山	⑬ 大脇	(右)③◯(中央)⑬~左足S

【成果】

- 正しいポジションが取れているときは、連続して相手にプレッシャーをかけ続けインターセプトの意識が高くなり、ボールを奪うための相手を剥がす動きが速くなった。
- 攻撃の優先順位を共有し、ディフェンスラインの裏を狙うダイレクトプレーの意識
- FWのDFとの駆け引きで動き出しのタイミングからオフでゴール前の状況を観て、積極的に相手の裏のスペースに飛び出しゴールを奪う。

【課題】

- DFラインをずるずる下げない。相手がボールを下げたり、長いボールが入ったらマークする相手を見ながらラインを押し上げたり、3ラインの距離を保ちながらラインコントロールしてバランスをとりいいポジションをとる。
- 相手のリスタート（FK）時のラインの押上がなく、コーチングで人につくDFの対応ができずにラインを下げてしまう。
- 相手ボールを奪った瞬間のプレーの質に課題があった。特にヘディングなどクリアボールをパスにしていくことや、切り替え時の準備が遅くピッチを広く使うことやボールを引き出せるポジションをとることが課題であった。また、サポートの距離感が悪く逆サイドのアクションがない。
- パスの出し手がしっかりと動きながら観て状況を把握し、的確な判断を伴った意図のあるパスを出すこと。